



群青～学びの道標～

瀬戸中学校 学力向上通信 第1号 令和5年5月29日発行

学力向上通信の発刊にあたって～群青の意味～

瀬戸中学校では、学校だより以外に、学力向上通信「群青～学びの道標～」を発行しています。「学力」と聞くと「また勉強の話か～」と思うかも知れませんが、決して、それだけのことはありません。中学校生活で体験し、学ぶ機会は、教科の学習はもちろん、行事や部活動をはじめ、本当にたくさんあります。このような様々な時間が、みなさん一人ひとりの成長につながっているのです。



2～3年生は分かっていると思いますが、この通信の名前を「群青」にした理由も説明しましょう。瀬戸中学校の校歌には、冒頭「小鳴門海峡 群青の海は われらが踏み出す 世界へ続く」という歌詞があります。群青(ぐんじょう)とは、「鮮やかな濃い青色」と辞書には書かれています。ときに海の色を表す言葉として使われます。しかし、校舎の窓から見下ろす小鳴門海峡の海の色は日によって、また時間帯によって、その色をどんどん変えていきます。それは辞書に書かれた言葉だけでは、到底足りない数の色を私たちに見せてくれます。

きっと海の色のように、一人ひとりの中には違う「青」が存在し、そのそれぞれの青が素晴らしい輝きをもって生きているのだと思います。たとえ不安や迷いや悩みがあっても、夢を抱き、追い続けることの尊さや「どうせ無理」なんて思わずに、何度失敗しても挑戦し続ける粘り強さをみなさんには身につけてほしいのです。

瀬戸中学校に集うすべての生徒のみなさんが、それぞれの色をもって、夢の実現に向けて、自分色の未来を生きていく力になればとの思いを込めて「群青」としました。これを読むたびに、自分の生き方や学び方を考える時間になってくれれば幸いです。

〔今月の行動目標〕

「時を守る」



時間を守るためには、先のことを考えて(見通して)行動することが必要です。また、時間を守ることで、周りの人から信頼される人になります。

「場を清める」



掃除をすることの意味は、①気づく人になれる ②心を磨く ③謙虚になれる ④感動の心をはぐくむ ⑤感謝の心がめばえる、です。誰かのために行動できる人は大きく成長します。

「礼を正す」



あいさつや返事をするという意味は、相手に「心を開いている」と伝えること。人より先に、大きな声で相手が気持ち良くなるあいさつや返事が出来るといいですね。他にも「言葉・服装・姿勢」を正すという意味も込められています。

「時を守り、場を清め、礼を正す」を基本に、学校生活の様々な場面の質を上げれば、瀬戸中学校はもっと素敵な学校になります。皆さんで頑張ってください。